

平成31年度（令和元年度）
全国学力・学習状況調査
恵庭市の調査結果（報告）



令和2年2月
恵庭市教育委員会

目 次

1	調査の概要	1
2	「教科に関する調査」調査結果	
	（1）小・中学校各教科平均正答率の状況	4
	（2）教科別調査結果の詳細	
	① 小学校国語	5
	② 小学校算数	8
	③ 中学校国語	11
	④ 中学校数学	14
	⑤ 中学校英語	17
3	「生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査」調査結果	
	（1）小学校児童質問紙調査結果の概要	21
	（2）中学校生徒質問紙調査結果の概要	23
	（3）児童・生徒質問紙の回答状況と学力とのクロス集計（基準別集計）結果	25
	（4）児童・生徒質問紙及び学校質問紙調査の主な回答結果データ	28
4	総評	31

1 調査の概要

(1) 調査の目的

全国学力・学習状況調査は、以下①・②の取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立することを目的として実施されています。

- ① 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ② 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

(2) 調査の対象

- ・ 小学校6年生、義務教育学校前期課程6年生、特別支援学校小学部6年生
 - ・ 中学校3年生、義務教育学校後期課程3年生、中等教育学校3年生、特別支援学校中学部3年生
- ※ いずれの学年においても、全ての児童・生徒が対象です。

(3) 調査の方式

全国学力・学習状況調査の方式は「**悉皆（しっかい）調査**」です。

悉皆調査は「全数調査」などともいわれ、集まったデータ全てををれなく分析する調査のことです。（反対に、集まったデータの一部を抜き出して分析する調査は「標本調査」などといわれます。）

(4) 調査の内容

① 教科に関する調査（テスト）

平成31年度（令和元年度）は、国語と算数（小学校6年生）又は数学（中学校3年生）に加え、初めて英語（中学校3年生）が行われました。

今年度から、国語と算数／数学の問題形式が変更【各教科ともA（主として「知識」に関する問題）・B（主として「活用」に関する問題）に分かれていたものが統合】となったとともに、英語については「話すこと」「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の4領域での調査が行われました。

②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査（アンケート）

児童・生徒一人ひとりを対象とした調査と、各小・中学校を対象とした調査の2種類が行われました。

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	・指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

（5）調査実施日

平成31年4月18日（木）

（6）調査を受けた児童・生徒数

単位(人)	小学校6年生		中学校3年生		
	国語	算数	国語	数学	英語
恵庭市	662	662	593	592	595
全道(公立)	38,831	38,837	37,859	37,844	37,844
全国(公立)	1,028,203	1,028,177	938,797	938,887	938,888

※当日の参加人数

（7）調査の解釈にあたって留意いただきたいこと

本調査は、幅広く児童生徒の学力や学習状況等を把握することなどを目的に実施していますが、本年度に調査した教科は2教科（小学校6年生）又は3教科（中学校3年生）のみであり、設問の内容も学習内容全てを網羅しているとは限りません。したがって、調査の結果から分かるのは、児童生徒が身に付けるべき学力の特定の一部分や、学校における教育活動の一側面に過ぎないことに十分ご留意ください。

（8）調査結果の掲載方法

「教科に関する調査（テスト）」の結果については、次のような方法で表示しています。

①教科ごとの平均正答率（％）

恵庭市の平均正答率は、全道・全国平均正答率との比較として、「記号」や「文言」で表します。

全国・全道平均との比較（ポイント差）	記号	文言
+5.0 以上	△	上回る
+2.0～+4.9	◇	やや上回る
-1.9～+1.9	≒	ほぼ同程度
-4.9～-2.0	◆	やや下回る
-5.0 以下	▼	下回る

恵庭市における「教科に関する調査」の平均正答率の数値については、他市町村との単純比較や序列化などに結びつき、調査の目的を損ないかねないとの考えから、公表していません。

同様の理由により、市内小・中学校ごとの結果数値についても公表していません。

②教科の具体的な領域や設問ごとの（平均）正答率（％）

①のような全道・全国平均との比較形式のほか、市の（平均）正答率についても「記号」や「文言」で表します。

市の（平均）正答率	記号	文言
80%以上	◎	相当できている
60%～79%	○	
50%～59%	●	課題がある
49%以下	・	

「教科に関する調査（テスト）」の結果と異なり、「生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査（アンケート）」の結果については、恵庭市の回答率をそのまま表示しています。

※教科の領域ごとの結果では「平均正答率」、個々の設問の結果では「正答率」を表します。

（9）調査問題・質問内容および国・北海道の調査結果報告書について

調査問題とその正答例、解説資料及び質問紙調査の内容については、文部科学省の所管する国立教育政策研究所のウェブサイトの下記のアドレスから、PDF形式でダウンロードすることができます。

- ・平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の調査問題・正答例・解説資料について
⇒ <https://www.nier.go.jp/19chousa/19chousa.htm>

また、国（文部科学省・国立教育政策研究所）としての調査結果報告書についても、同様にダウンロードすることができます。

- ・調査結果報告書（国） ⇒ <http://www.nier.go.jp/19chousakekkahoukoku/index.html>

北海道教育委員会としての調査結果報告書については、下記アドレスから、PDF形式でダウンロードすることができます。

- ・調査結果報告書（北海道）
⇒ <http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/gky/gks/gakuryoku31/top/htm>

※上記に記載したウェブサイトのアドレスは、いずれも令和元年12月現在のものです。



2 「教科に関する調査」調査結果

(1) 小・中学校各教科平均正答率の状況

- 平成31年度（令和元年度）の恵庭市の平均正答率は、小学校6年生の国語、中学校3年生の英語は全道平均をやや上回った。一方、小学校6年生の算数は全国平均をやや下回った。
- 平成26年度以降、全国平均との差が±5ポイント以内と、大きな差が見られない状況が続いている。

*平成31年度（令和元年度） 恵庭市小・中学校の各教科別平均正答率

		平均正答率							
		小学校6年生		中学校3年生					
H31 (R1)	教科	国語		算数		国語		数学	英語
	恵庭市 (国と比較)	≒		◆		≒		≒	≒
	全国平均 (公立)	63.8%		66.6%		72.8%		59.8%	56.0%
	恵庭市 (道と比較)	◇		≒		≒		≒	◇
	全道平均 (公立)	62.8%		64.5%		72.1%		58.1%	54.2%
	正答率の 位置	道<国<市		市<道<国		道<国<市		道<市<国	道<国<市
H30 (前回) ※参考	教科	国語A	国語B	算数A	算数B	国語A	国語B	数学A	数学B
	恵庭市 (国と比較)	≒	≒	≒	◆	≒	≒	≒	≒
	恵庭市 (道と比較)	≒	≒	◇	≒	≒	≒	≒	◇
	正答率の 位置	道<国<市	道<市<国	道<国<市	市<道<国	市<国<道	道<国<市	道<市<国	道<国<市
(実施なし)									

記号の意味 比較先よりも平均正答率が…△上回る ◇やや上回る ≒ほぼ同程度 ◆やや下回る ▼下回る



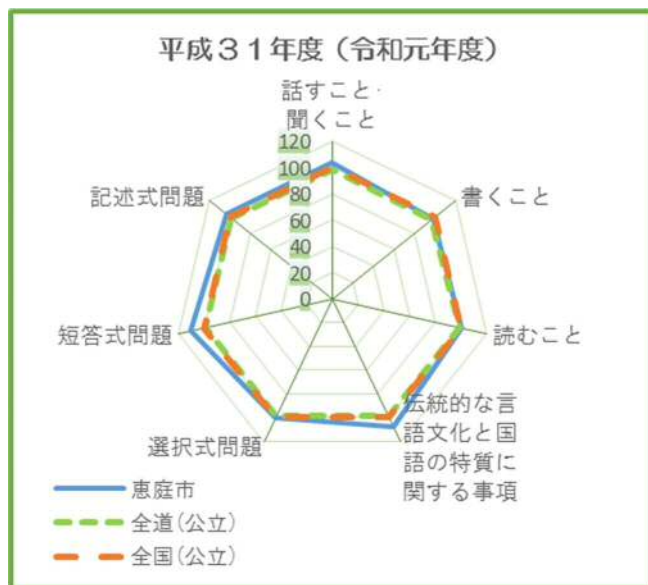
(2) 教科別調査結果の詳細

① 小学校 国語

解答時間45分・設問数14問

- 各領域等の平均正答率は、「話すこと・聞くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は全国・全道をやや上回った。また、「短文式問題」は全国・全道を上回り、「記述式問題」は全道をやや上回った。その他の分野については、全国・全道とほぼ同程度であった。
- 正答数が全国下位4分の1層の児童の割合は、全国より2.0ポイント低かった。
- 設問別結果のうち、漢字の読み書きについては、2問は正答率が全国よりやや上回り、1問は正答率が全国を上回った。一方、正答率が全国をやや下回った問題が1問見られた。

*全国平均正答率を100とした時の恵庭市平均正答率（分野別レーダーチャート）

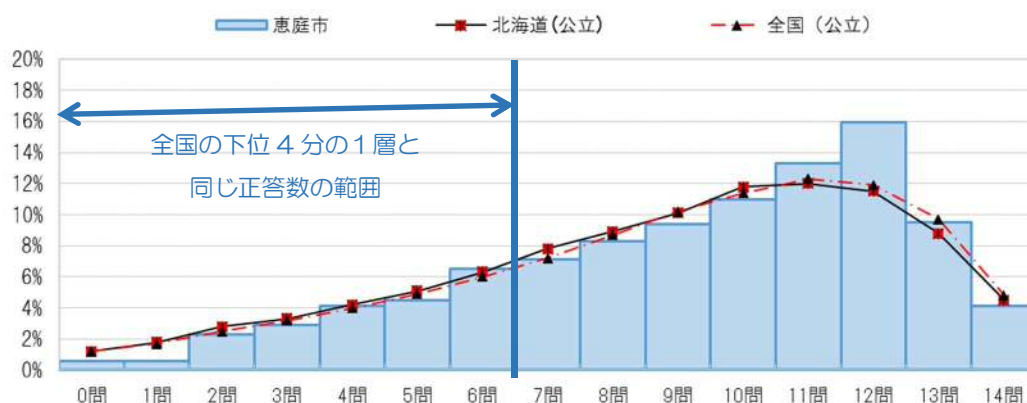


*小学校国語 分野別(領域・問題形式別)平均正答率の状況

		領域別正答率								問題形式別正答率							
		話すこと・聞くこと		書くこと		読むこと		伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項		選択式問題		短文式問題		記述式問題			
H31 (R1)	恵庭市	○	●	◎	●	○	●	○	●	○	●	○	●	○	●		
	国と比較	◇	≒	≒	◇	≒	≒	≒	△	≒	≒	△	≒	≒			
	全国(公立)	72.3%	54.3%	81.7%	53.5%	75.1%	48.7%	57.6%									
	道と比較	◇	≒	≒	◇	≒	≒	◇	≒	△	≒	△	◇	≒			
	全道(公立)	71.0%	52.7%	81.2%	52.9%	74.0%	48.0%	56.6%									
H30 (前回) ※参考	教科	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B		
	国と比較	≒	◆	≒	≒	≒	≒	≒	≒	≒	◆	◆	設問なし	設問なし	≒		
	道と比較	≒	≒	≒	≒	≒	≒	≒	≒	≒	≒	≒	設問なし	設問なし	≒		

記号の意味	恵庭市の正答率が… ◎80%以上 ○60%~79% ●50%~59% ◦49%以下
	比較先よりも平均正答率が… △上回る ◇やや上回る ≒ほぼ同程度 ◆やや下回る ▼下回る

* 正答数の分布状況（横軸：正答数、縦軸：児童全体に占める割合）



* 全国の下位 4 分の 1 層と同じ正答数の範囲に含まれる児童の割合

		割合 (低い程良好)	全国との差 (低い程優位)
H31 (R1)	恵庭市	21.5%	-2.0
	全国	23.5%	
	全道	24.7%	1.2

※割合は正答数ごとにまとまっており、通常、丁度 4 分の 1 で区切ることができないので、「全国の下位 25% に最も近い正答数の範囲」に含まれる児童・生徒の割合を示している。

* 恵庭市における設問別結果の概要

全 14 問中		(領域別内訳)		(形式別内訳)	
全国の正答率を 3ポイント以上上回った設問	3問	話すこと・聞くこと	1 / 3問	選択式問題	0 / 7問
		書くこと	0 / 3問	短答式問題	2 / 4問
		読むこと	0 / 3問	記述式問題	1 / 3問
		伝統的な言語文化…	2 / 5問		
全国の正答率を 3ポイント以上下回った設問	なし				
無解答率が 10%以上の設問	なし				

【無解答率とは】

児童生徒が問題に取り組むのを断念し、何も解答しなかった割合です。その問題がねらいとしている内容を考えたり、書いたりすること自体を「難しい」「手に負えない」と感じていることが表れています。したがって、無解答率の高い問題では、解き方や考え方の習熟に課題があり、指導にいつもの丁寧さや工夫が求められるといえます。

* 主な設問別結果一覧

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	分野(学習指導要領上の「領域」等)	形式	恵庭市正答率	全国(公立)		全道(公立)	
						正答率	比較	正答率	比較
★恵庭市の正答率が全国の正答率を3ポイント以上上回った設問									
1四 (1)ア	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中の___部アを、漢字を使って書き直す(調査のたいしょう)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	短答	■	41.9%	△	41.4%	△
			無解答率とその比較		7.4%	8.2%	-0.8	10.5%	-3.1
1四 (1)イ	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中の___部イを、漢字を使って書き直す(友達にかぎらず)	話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	短答	◎	69.4%	△	70.3%	△
			無解答率とその比較		4.8%	12.1%	-7.3	12.0%	-7.2
3三	【インタビューの様子】の「イ」に、豊職人の仕事への思いや考えに着目して心に残ったことを書く	話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる	話すこと・聞くこと	記述	○	68.2%	◇	66.5%	△
			無解答率とその比較		9.4%	14.2%	-4.8	15.0%	-5.6
記号の意味	恵庭市の正答率が… ◎80%以上 ○60%~79% ●50%~59% ・49%以下								
	比較先よりも平均正答率が…△上回る ◇やや上回る ≍ほぼ同程度 ◆やや下回る ▼下回る								

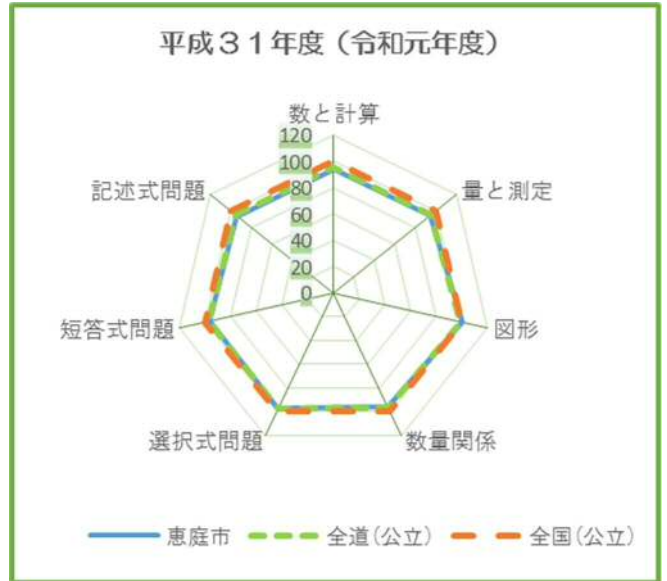


② 小学校 算数

解答時間45分・設問数14問

*全国平均正答率を100とした時の恵庭市平均正答率（分野別レーダーチャート）

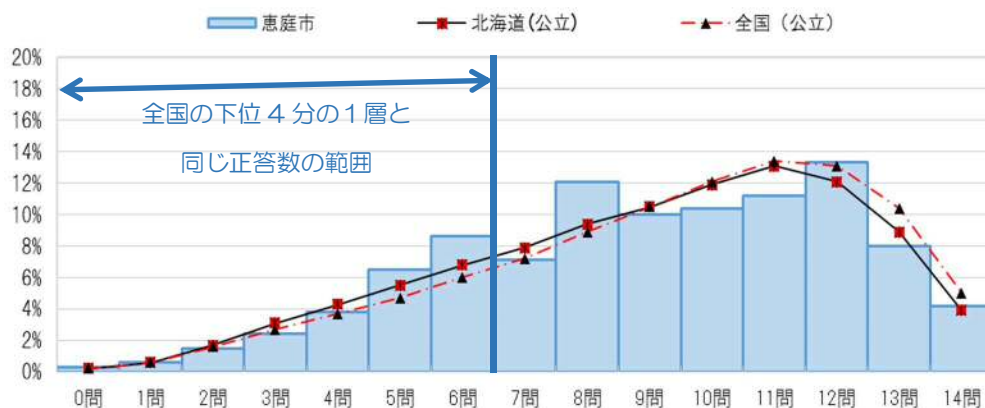
- 各領域等の平均正答率は、「図形」は全国平均正答率とほぼ同程度で、その他の分野についてはやや下回った。また全ての分野において、全道の平均正答率とほぼ同程度であった。
- 正答数が全国下位4分の1層の児童の割合は、全国より4.2ポイント、全道より1.5ポイント高い。
- 正答率が全国より3ポイント以上下回った問題が6問あり、うち3問は「記述式問題」であった。また、無解答率が10パーセントを上回った設問が1問あり、理由や方法等を説明することに課題があると考えられる。



*小学校算数 分野別（領域・問題形式別）平均正答率の状況

		領域別正答率								問題形式別正答率							
		数と計算		量と測定		図形		数量関係		選択式問題		短答式問題		記述式問題			
H31 (R1)	恵庭市	●		●		○		○		○		○		・			
	国と比較	◆		◆		≒		◆		◆		◆		◆			
	全国(公立)	63.2%		52.9%		76.7%		68.3%		75.7%		72.8%		47.4%			
	道と比較	≒		≒		≒		≒		≒		≒		≒			
	全道(公立)	60.6%		50.2%		76.0%		65.7%		73.9%		70.5%		45.2%			
H30 (前回) ※参考	教科	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B		
	国と比較	≒	◆	◇	◆	≒	◆	≒	◆	≒	◆	≒	◆	設問なし	◆		
	道と比較	≒	≒	◇	≒	≒	≒	≒	≒	◇	≒	◇	≒		≒		
記号の意味		恵庭市の正答率が… ◎80%以上 ○60%~79% ●50%~59% ・49%以下 比較先よりも平均正答率が…△上回る ◇やや上回る ≒ほぼ同程度 ◆やや下回る ▼下回る															

* 正答数の分布状況（横軸：正答数、縦軸：児童全体に占める割合）



* 全国の下位4分の1層と同じ正答数の範囲に含まれる児童の割合

		割合 (低い程良好)	全国との差 (低い程優位)
H31 (R1)	恵庭市	23.7%	4.2
	全国	19.5%	
	全道	22.2%	2.7

※割合は正答数ごとにまとまっており、通常、丁度4分の1で区切ることができないので、「全国の下位25%に最も近い正答数の範囲」に含まれる児童・生徒の割合を示している。

* 恵庭市における設問別結果の概要

全14問中		(領域別内訳)		(形式別内訳)	
全国の正答率を3ポイント以上上回った設問	なし				
全国の正答率を3ポイント以上下回った設問	6問	数と計算	4 / 7問	選択式問題	1 / 5問
		量と測定	2 / 3問	短答式問題	2 / 5問
		図形	0 / 2問	記述式問題	3 / 4問
		数量関係	2 / 7問	※領域の重複する設問がある。	
無解答率が10%以上の設問	1問	数と計算	1 / 7問	選択式問題	0 / 5問
		量と測定	0 / 3問	短答式問題	0 / 5問
		図形	0 / 2問	記述式問題	1 / 4問
		数量関係	0 / 7問	※領域の重複する設問がある。	

* 主な設問別結果一覧

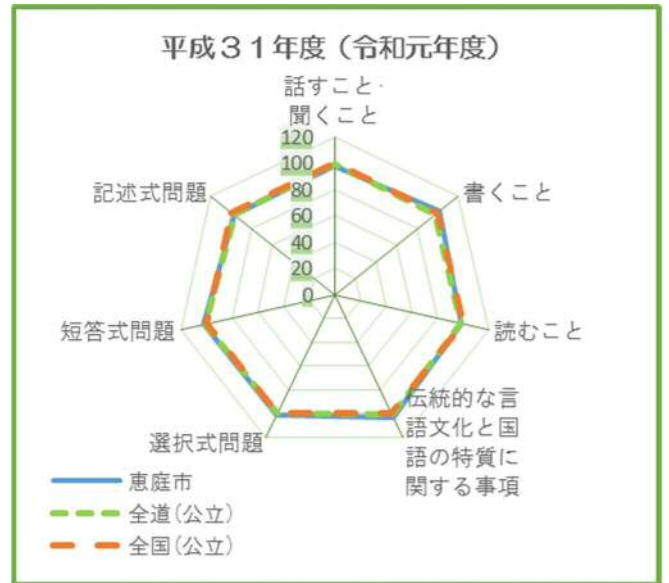
設問番号	設問の概要	出題の趣旨	分野(学習指導要領上の「領域」等)	形式	恵庭市正答率	全国(公立)		全道(公立)	
						正答率	比較	正答率	比較
★恵庭市の正答率が全国の正答率を3ポイント以上下回った設問									
1(3)	減法の式が、示された形の面積をどのように求めているのかを、数や演算の表す内容に着目して書く	示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述できる	量と測定	記述	■	43.9%	◆	41.8%	≡
						無解答率とその比較	6.3%	6.7%	-0.4
3(2)	減法の計算の仕方についてまとめたことを基に、除法の計算の仕方についてまとめると、どのようになるのかを書く	示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述できる	数と計算	記述	■	31.1%	◆	30.1%	◆
						無解答率とその比較	11.3%	10.8%	0.5
3(3)	被除数と除数にける数や割る数を選び、 $600 \div 15$ を計算しやすい式にして計算する	示された計算の仕方を解釈し、かける数や割る数を選び、計算しやすい式にして計算できる	数と計算	短答	○	74.9%	◆	72.3%	≡
						無解答率とその比較	1.4%	2.1%	-0.7
3(4)	$1800 \div 6$ は、何m分の代金を求めている式といえるのかを選ぶ	示された除法の式の意味を理解している	数と計算、数量関係	選択	■	47.0%	▼	41.1%	◆
						無解答率とその比較	2.4%	2.2%	0.2
4(2)	何秒後にゴンドラに乗ることができるのかを求める式を書く	示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式することができる	数と計算	短答	○	68.6%	◆	66.8%	≡
						無解答率とその比較	3.5%	4.4%	-0.9
4(3)	残り7ポール分進むのにかかる時間の求め方と答えを記述し、24分間以内にレジに着くことができるかどうかを判断する	場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に、求め方と答えを記述し、その結果から判断できる	量と測定、数量関係	記述	●	62.6%	◆	59.3%	≡
						無解答率とその比較	3.6%	3.5%	0.1

記号の意味	恵庭市の正答率が…	◎80%以上	○60%~79%	●50%~59%	・49%以下
	比較先よりも平均正答率が…	△上回る	◇やや上回る	≡ほぼ同程度	◆やや下回る



*全国平均正答率を100とした時の恵庭市平均正答率（分野別レーダーチャート）

- 各領域の平均正答率は、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」が全国を、「書くこと」が全道をやや上回っている。一方、「記述式問題」の正答率が全国と比較してやや下回った。
- 正答数が全国下位4分の1層の生徒の割合は、全国より0.7ポイント低い。
- 自分の考えを記述する問題の正答率が低く、あわせて無解答率も高かった。

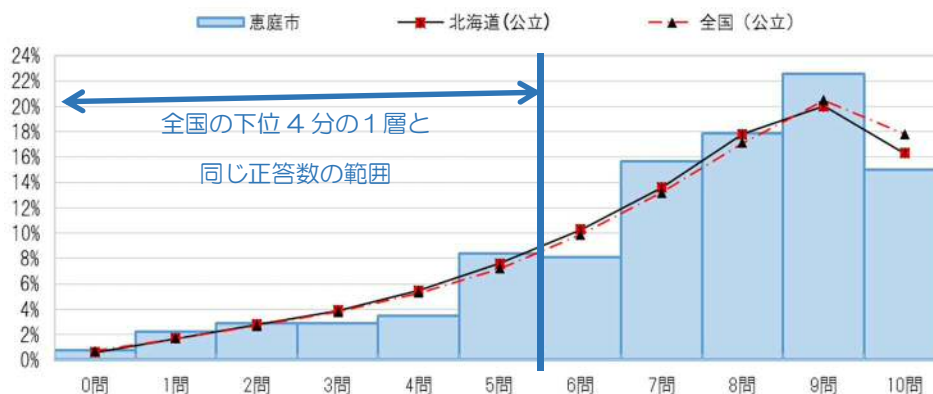


*中学校国語 分野別（領域・問題形式別）平均正答率の状況

		領域別正答率								問題形式別正答率					
		話すこと・聞くこと		書くこと		読むこと		伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項		選択式問題		短文式問題		記述式問題	
H31 (R1)	恵庭市	○		◎		○		○		○		●		○	
	国と比較	≒		≒		≒		◇		≒		≒		◆	
	全国(公立)	70.2%		82.6%		72.2%		67.7%		73.6%		56.8%		76.5%	
	道と比較	≒		◇		≒		≒		≒		≒		≒	
	全道(公立)	69.4%		81.1%		71.2%		68.6%		73.6%		56.9%		74.4%	
H30 (前回) ※参考	教科	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B
	国と比較	≒	◇	≒	≒	◆	≒	≒	◆	≒	≒	≒	設問なし	設問なし	≒
	道と比較	≒	≒	◆	≒	◆	≒	≒	≒	≒	≒	≒	設問なし	設問なし	≒

記号の意味	恵庭市の正答率が… ◎80%以上 ○60%~79% ●50%~59% ・49%以下
	比較先よりも平均正答率が…△上回る ◇やや上回る ≒ほぼ同程度 ◆やや下回る ▼下回る

* 正答数の分布状況（横軸：正答数、縦軸：生徒全体に占める割合）



* 全国の下位4分の1層と同じ正答数の範囲に含まれる生徒の割合

		割合 (低い程良好)	全国との差 (低い程優位)
H31 (R1)	恵庭市	20.7%	-0.7
	全国	21.4%	
	全道	22.1%	0.7

※割合は正答数ごとにまとまっており、通常、丁度4分の1で区切ることができないので、「全国の下位25%に最も近い正答数の範囲」に含まれる児童・生徒の割合を示している。

* 恵庭市における設問別結果の概要

全10問中		(領域別内訳)		(形式別内訳)	
全国の正答率を 3ポイント以上上回った設問	1問	話すこと・聞くこと	0 / 3問	選択式問題	1 / 6問
		書くこと	0 / 2問	短答式問題	0 / 1問
		読むこと	0 / 3問	記述式問題	0 / 3問
		伝統的な言語文化…	1 / 2問		
全国の正答率を 3ポイント以上下回った設問	1問	話すこと・聞くこと	1 / 3問	選択式問題	0 / 6問
		書くこと	0 / 2問	短答式問題	0 / 1問
		読むこと	0 / 3問	記述式問題	1 / 3問
		伝統的な言語文化…	0 / 2問		
無解答率が 10%以上の設問	1問	話すこと・聞くこと	1 / 3問	選択式問題	0 / 6問
		書くこと	0 / 2問	短答式問題	0 / 1問
		読むこと	0 / 3問	記述式問題	1 / 3問
		伝統的な言語文化…	0 / 2問		

* 主な設問別結果一覧

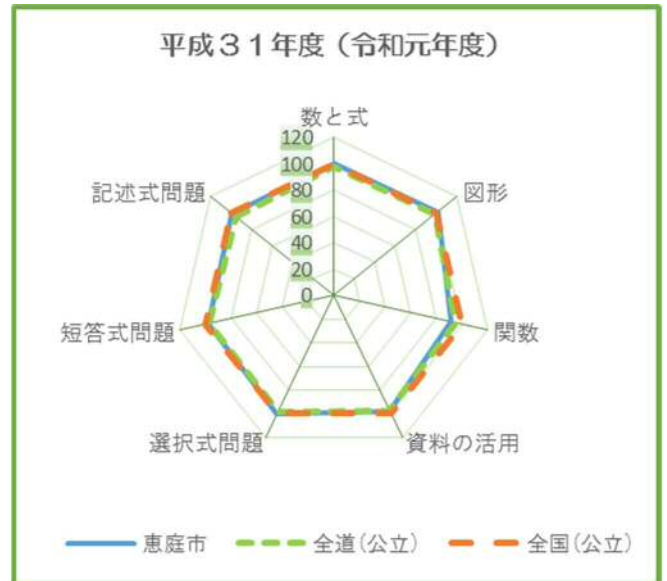
設問番号	設問の概要	出題の趣旨	分野(学習指導要領上の「領域」等)	形式	恵庭市正答率	全国(公立)		全道(公立)	
						正答率	比較	正答率	比較
★恵庭市の正答率が全国の正答率を3ポイント以上上回った設問									
4	語の一部を省いた表現についての説明として適切なものを選択する	語の一部を省いた表現について、話や文章の中での適切な活用の仕方を理解する	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	選択	◎	78.7%	◇	80.4%	◇
					無解答率とその比較	1.2%	1.2%	0.0	1.1%
★恵庭市の正答率が全国の正答率を3ポイント以上下回った設問									
2三	話合いの流れを踏まえ、「どうするか決まっていないこと」について自分の考えを書く	話合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつ	話すこと・聞くこと	記述	●	60.4%	▼	57.9%	◆
					無解答率とその比較	11.3%	8.9%	2.4	10.6%

記号の意味	恵庭市の正答率が… ◎80%以上 ○60%~79% ●50%~59% ・49%以下
	比較先よりも平均正答率が… △上回る ◇やや上回る ≍ほぼ同程度 ◆やや下回る ▼下回る



*全国平均正答率を100とした時の恵庭市平均正答率（分野別レーダーチャート）

- 各領域等の平均正答率は、「関数」で全国をやや下回っているが、その他の領域等は全国、全道とほぼ同程度である。
- 正答数が全国下位4分の1層の生徒の割合は、全国より1.1ポイント低い。
- 「関数」の正答率が特に低く、あわせて無解答率が高い傾向にあることから、文字を用いた数式の問題等に課題があると推察される。また、記述式問題の正答率が低く、あわせて無解答率が高いことから、解答すること自体を諦めてしまう生徒の割合が多いことが読み取れる。

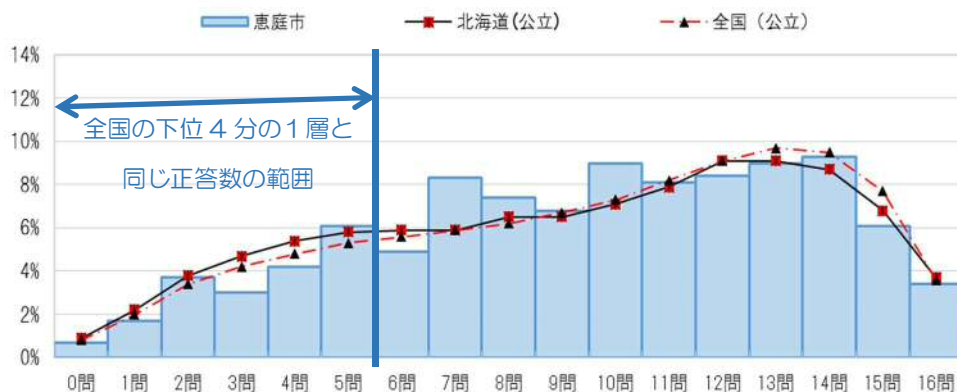


*中学校数学 分野別（領域・問題形式別）平均正答率の状況

		領域別正答率								問題形式別正答率							
		数と式		図形		関数		資料の活用		選択式問題		短答式問題		記述式問題			
H31 (R1)	恵庭市	○		○		・		●		○		○		・			
	国と比較	≒		≒		◆		≒		≒		≒		≒			
	全国(公立)	63.8%		72.4%		40.8%		56.3%		60.3%		66.6%		47.1%			
	道と比較	≒		≒		≒		≒		≒		≒		≒			
	全道(公立)	62.1%		71.2%		38.8%		54.6%		59.3%		64.9%		44.9%			
H30 (前回) ※参考	教科	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B		
	国と比較	◆	≒	≒	≒	≒	≒	≒	◇	≒	≒	≒	◇	設問なし	≒		
	道と比較	≒	≒	≒	◇	≒	≒	◇	◇	≒	◇	≒	◇		≒		

記号の意味	恵庭市の正答率が…	◎80%以上	○60%~79%	●50%~59%	・49%以下
	比較先よりも平均正答率が…	△上回る	◇やや上回る	≒ほぼ同程度	◆やや下回る

* 正答数の分布状況（横軸：正答数、縦軸：生徒全体に占める割合）



* 全国の下位4分の1層と同じ正答数の範囲に含まれる生徒の割合

		割合 (低い程良好)	全国との差 (低い程優位)
H31 (R1)	恵庭市	19.4%	-1.1
	全国	20.5%	
	全道	22.8%	2.3

※割合は正答数ごとにまとめており、通常、丁度4分の1で区切ることができないので、「全国の下位25%に最も近い正答数の範囲」に含まれる児童・生徒の割合を示している。

* 恵庭市における設問別結果の概要

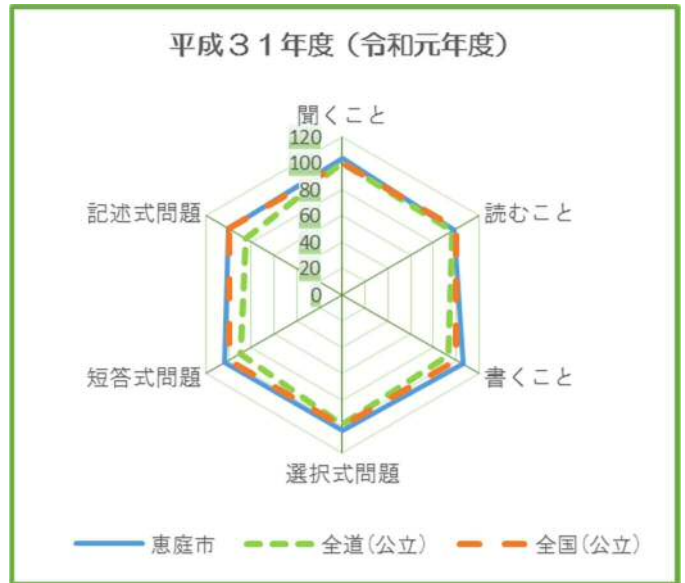
全16問中		(領域別内訳)		(形式別内訳)	
全国の正答率を3ポイント以上上回った設問	なし				
全国の正答率を3ポイント以上下回った設問	3問	数と式	0 / 5問	選択式問題	1 / 5問
		図形	0 / 4問	短答式問題	2 / 7問
		関数	1 / 3問	記述式問題	0 / 4問
		資料の活用	2 / 4問		
無解答率が10%以上の設問	7問	数と式	2 / 5問	選択式問題	0 / 5問
		図形	1 / 4問	短答式問題	3 / 7問
		関数	2 / 3問	記述式問題	4 / 4問
		資料の活用	2 / 4問		

* 主な設問別結果一覧

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	分野(学習指導要領上の「領域」等)	形式	恵庭市正答率	全国(公立)		全道(公立)	
						正答率	比較	正答率	比較
★恵庭市の正答率が全国の正答率を3ポイント以上下回った設問									
4	反比例の表から式を求める	反比例の表から、 x と y の関係を式で表すことができる	関数	短答	■	48.9%	▼	46.0%	▼
						無解答率とその比較	10.6%	10.4%	0.2
8(1)	読んだ本の冊数と人数の関係をまとめた表から、読んだ本の冊数の最頻値を求める	資料を整理した表から最頻値を読み取ることができる	資料の活用	短答	●	57.9%	◆	55.3%	≡
						無解答率とその比較	11.7%	10.6%	1.1
8(3)	図書だよりの下書きに書かれているわかったことの根拠となる値として適切なものを選ぶ	問題解決をするためにどのような代表値を用いるべきかを判断することができる	資料の活用	選択	■	53.6%	◆	50.4%	≡
						無解答率とその比較	0.3%	1.0%	-0.7
★上記以外で、恵庭市の無解答率が10%以上になった設問									
6(2)	冷蔵庫Bと冷蔵庫Cについて、式やグラフを用いて、2つの総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる	関数	記述	■	34.7%	≡	33.1%	≡
						無解答率とその比較	15.9%	11.6%	4.3
7(3)	四角形ABCDがどのような四角形であれば、 $AF=CE$ になるかを説明する	結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明することができる	図形	記述	●	53.3%	≡	50.3%	≡
						無解答率とその比較	18.1%	17.6%	0.5
8(2)	「1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多い」という考えが適切ではない理由を、ヒストグラムの特徴を基に説明する	資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる	資料の活用	記述	■	40.8%	≡	41.0%	≡
						無解答率とその比較	24.2%	21.3%	2.9
9(1)	説明をよみ、 $6n+9$ を $3(2n+3)$ に変形する理由を完成する	与えられた説明を振り返って考え、式変形の目的を捉えることができる	数と式	短答	●	57.4%	≡	55.0%	◇
						無解答率とその比較	11.0%	9.5%	1.5
9(2)	連続する5つの奇数の和が中央の奇数の5倍になることの説明を完成する	事柄が成り立つ理由を説明することができる	数と式	記述	●	59.7%	≡	55.2%	◇
						無解答率とその比較	17.4%	17.8%	-0.4
記号の意味	恵庭市の正答率が… ◎80%以上 ○60%~79% ●50%~59% ・49%以下 比較先よりも平均正答率が…△上回る ◇やや上回る ≡ほぼ同程度 ◆やや下回る ▼下回る								

*全国平均正答率を100とした時の恵庭市平均正答率（分野別レーダーチャート）

- 各領域等の平均正答率は、「聞くこと」「書くこと」「選択式問題」が全国をやや上回った。また、「書くこと」については「短答式問題」とともに全道の平均正答率を上回った。
- 正答数が全国下位4分の1層の生徒の割合は、全国より4.0ポイント下回った。
- 全国より3ポイント以上上回った問題が8問あり、うち4問は大きく上回っていた。
- 正答率の低い問題のうち、特に記述式問題の正答率が低く、あわせて無解答率が非常に高い。このことから、ある問いに対して考えを自分の言葉で記述することに課題があると推察される。



※「話すこと」については、調査環境や設備等に差があるため、全国集計は行っていない。

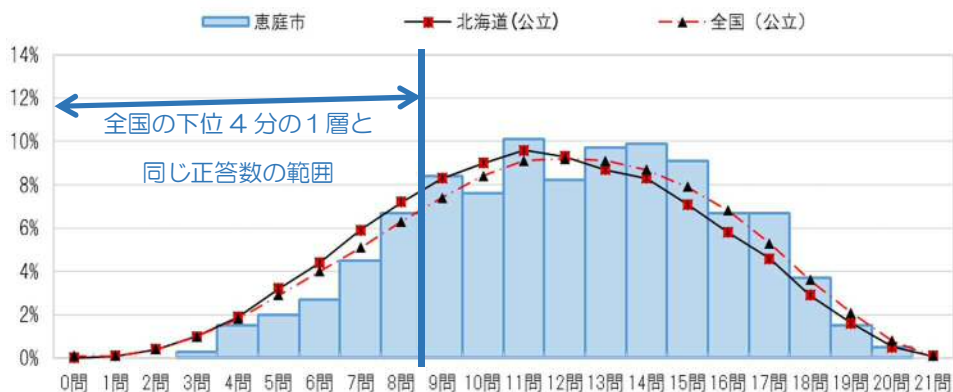
* 中学校英語 分野別（領域・問題形式別）平均正答率の状況

		領域別正答率			問題形式別正答率		
		聞くこと	読むこと	書くこと	選択式問題	短答式問題	記述式問題
H31 (R1)	恵庭市	○	●	▪	○	▪	▪
	国と比較	◇	≒	◇	◇	≒	≒
	全国(公立)	67.9%	55.6%	45.8%	71.4%	45.2%	6.8%
	道と比較	◇	≒	△	◇	△	≒
	全道(公立)	67.9%	53.4%	42.7%	70.5%	40.6%	5.8%

※平成30年度以前は実施していない。

記号の意味	恵庭市の正答率が…	◎80%以上	○60%~79%	●50%~59%	▪49%以下
	比較先よりも平均正答率が…	△上回る	◇やや上回る	≒ほぼ同程度	◆やや下回る ▼下回る

* 正答数の分布状況（横軸：正答数、縦軸：生徒全体に占める割合）



* 全国の下位4分の1層と同じ正答数の範囲に含まれる生徒の割合

		割合 (低い程良好)	全国との差 (低い程優位)
H31 (R1)	恵庭市	17.7%	-4.0
	全国	21.7%	
	全道	24.1%	2.4

※割合は正答数ごとにまとまっており、通常、丁度4分の1で区切ることができないので、「全国の下位25%に最も近い正答数の範囲」に含まれる児童・生徒の割合を示している。

* 恵庭市における設問別結果の概要

全 2 1 問中		(領域別内訳)		(形式別内訳)	
全国の正答率を 3ポイント以上上回った設問	8問	聞くこと	3 / 7問	選択式問題	6 / 13問
		読むこと	1 / 6問	短答式問題	2 / 5問
		書くこと	4 / 8問	記述式問題	0 / 3問
全国の正答率を 3ポイント以上下回った設問	2問	聞くこと	1 / 7問	選択式問題	1 / 13問
		読むこと	0 / 6問	短答式問題	1 / 5問
		書くこと	1 / 8問	記述式問題	0 / 3問
無解答率が 10%以上の設問	4問	聞くこと	1 / 7問	選択式問題	0 / 13問
		読むこと	1 / 6問	短答式問題	2 / 5問
		書くこと	2 / 8問	記述式問題	2 / 3問

* 主な設問別結果一覧

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	分野(学習指導要領上の「領域」等)	形式	恵庭市正答率	全国(公立)		全道(公立)	
						正答率	比較	正答率	比較
★恵庭市の正答率が全国の正答率を3ポイント以上上回った設問									
1(1)	ある状況を描写する英語を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を選択する	語と語の連結による音変化をとらえて、情報を正確に聞き取ることができる	聞くこと	選択	◎	91.1%	◇	92.0%	◇
1(2)	教室英語を聞いて、その指示の内容を最も適切に表している絵を選択する	教室英語を理解して、情報を正確に聞き取ることができる	聞くこと	選択	◎	88.6%	◇	87.7%	△
2	イギリスと日本の類似点や相違点についてのスピーチを聞いて、話の展開に合わせて示す絵を並び替える	まとまりのある英語を聞いて、話の概要を理解することができる	聞くこと	選択	○	71.8%	△	73.9%	◇
5(1)	ある場所を説明する英文を読んで、空所に入る語句として最も適切なものを選択する	日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる	読むこと	選択	◎	79.4%	◇	75.9%	△
9(1)①	文中の空所に入れる接続詞として、最も適切なものを選択する	文の中で適切に接続詞を用いることができる	書くこと	選択	◎	79.9%	△	79.5%	△
9(1)②	文中の空所に入れる接続詞として、最も適切なものを選択する	文の中で適切に接続詞を用いることができる	書くこと	選択	○	58.2%	△	57.6%	△
9(2)①	与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりなどして、会話が成り立つように英文を書く	一般動詞の2人称単数現在時制の疑問文を正確に書くことができる	書くこと	短答	○	73.6%	◇	70.6%	△
9(3)③	与えられた情報に基づいて、ある女性を説明する英文を書く	与えられた情報に基づいて、一般動詞の3人称単数現在時制の否定文を正確に書くことができる	書くこと	短答	▪	37.4%	△	34.2%	△

記号の意味	恵庭市の正答率が… ◎80%以上 ○60%~79% ●50%~59% ・49%以下
	比較先よりも平均正答率が…△上回る ◇やや上回る ≒ほぼ同程度 ◆やや下回る ▼下回る

★恵庭市の正答率が全国の正答率を3ポイント以上下回った設問

5(2)	ある状況を描写する英文を読んで、その内容を最も適切に表している絵を選択する	日常的な話題について、簡単な文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる	読むこと	選択	○	74.4%	◆	72.7%	◆
			無解答率とその比較		0.0%	0.2%	-0.2	0.1%	-0.1
9(3) ②	与えられた情報に基づいて、ある女性を説明する英文を書く	与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文を正確に書くことができる	書くこと	短答	▪	32.9%	◆	27.4%	◇
			無解答率とその比較		10.4%	9.3%	1.1	12.0%	-1.6

★上記以外で、恵庭市の無解答率が10%以上になった設問

4	来日する留学生の音声メッセージを聞いて、部活動についてのアドバイスを書く	聞いて把握した内容について、適切に応じることができる	聞くこと	記述	▪	7.6%	◇	6.7%	◇
			無解答率とその比較		34.1%	42.3%	-8.2	44.9%	-10.8
8	食糧問題について書かれた資料を読んで、その問題に対する自分の考えを書く	書かれた内容に対して、自分の考えを示すことができるよう、話の内容や書き手の意見などをとらえることができる	読むこと	記述	▪	10.9%	≡	9.4%	≡
			無解答率とその比較		26.2%	27.9%	-1.7	32.2%	-6.0
9(2) ②	与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりなどして、会話が成り立つように英文を書く	一般動詞の1人称複数過去時制の肯定文を正確に書くことができる	書くこと	短答	▪	28.9%	≡	25.0%	◇
			無解答率とその比較		11.9%	12.6%	-0.7	14.9%	-3.0

記号の意味	恵庭市の正答率が…	◎80%以上	○60%~79%	●50%~59%	・49%以下
	比較先よりも平均正答率が…	△上回る	◇やや上回る	≡ほぼ同程度	◆やや下回る



3 「生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査」調査結果

(1) 小学校児童質問紙調査結果の概要

小学校 児童質問紙
学校質問紙

回答時間 20~40分・質問数 58問
回答時間設定なし・質問数 64問

質問紙調査の主な項目の回答結果データは、28ページ以降に掲載しています。

ア. 生活習慣

【早寝早起き朝ごはん】早寝早起きについて直接の質問はないが、「毎日同じくらいの時刻に起きている」と答えた割合は全国より0.7ポイント高く、全道より1.5ポイント高かった。「毎日同じくらいの時刻に寝ている」と答えた割合は、全国より0.6ポイント低く、全道より0.7ポイント低かった。「朝食を毎日食べている」と答えた割合は、全国より0.4ポイント低かったが、全道より0.9ポイント高かった。

起床時間・朝食については9割以上の児童が肯定的に回答しているが、就寝時間の肯定的回答は8割程度であり、**就寝時間が起床時間・朝食よりやや不規則である**と言える。

【テレビ・ゲーム・スマホ】今回調査ではテレビ・ゲーム・スマホに関する設問がなかったが、例年の回答傾向や前述の就寝・起床に関する分析をふまえて、夜更かしで生活リズムを崩したり、家庭でのだらんや学習の時間を損ねないように、道教委の示す1日合計2時間以内を目安に、家庭・学校双方から「節度ある利用」を指導していくことが、引き続き重要となる。

【参考】道教委リーフレット「時間の目安を決めて子どもの生活リズムを整える！」
(http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/gky/gks/jikan_meyasu.htm)
※ 記載したウェブサイトのアドレスは、令和元年11月現在のものです。

イ. 自分やまわりへの意識

【自尊感情】「自分にはよいところがある」と答えた割合は、前年と比較し1.7ポイント低い79.9%であり、全国より1.3ポイント低かったが、全道より1ポイント高かった。

【挑戦心・親切心】「将来の夢や目標を持っている」と答えた割合は83.1%であり、全道より1.1ポイント高かったが、全国より0.7ポイント低かった。また、「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」と答えた割合は55.5%であり、これは全国より1ポイント高く、全道より5.9ポイント高かった。

このことから、**人のためになることを考えようとする、親切心を発揮できる児童の割合が多い**と考えられる。

ウ. 家庭学習

【家庭学習の時間】市教委では、小学校6年生の家庭学習の時間の目安を70分(学年×10分+10分)としている。これをほぼ達成するレベルとして「平日に1時間以上学校以外で勉強している」と答えた割合は、前年と比較し0.6ポイント高い63.3%であり、全道より5.7ポイント高いが、

全国より 2.8 ポイント低かった。学校以外での勉強については、**学校において学習内容の定着を目指した家庭学習の指導が行われ、これを児童が着実に実践しているが、平日の習慣としてさらなる時間を家庭学習に充てること**が課題となっている。

【家庭学習の内容】「家で、自分で計画を立てて勉強している」と答えた割合は 70.1%であり、全国より 1.4 ポイント低く、全道より 1.2 ポイント低かったことから、**学校での学習指導に基づき、児童が計画的に家庭学習を実践すること**が課題となっている。

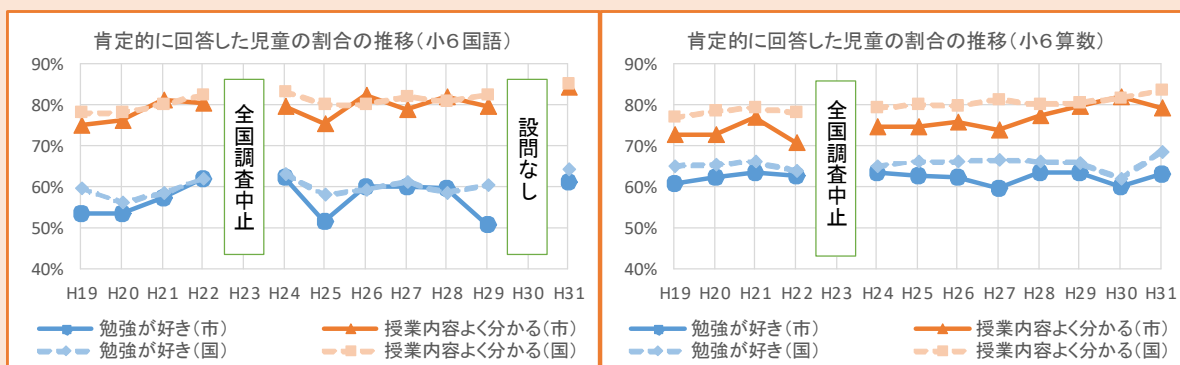
エ. 学校での学習

【学習活動全般】「5年生までに受けた授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と答えた割合は 77.6%であり、全国より 0.1 ポイント低かったが、全道より 1.4 ポイント高かった。

【国語・算数】「国語の勉強が好き」と答えた割合は 61.1%と、全国より 3.1 ポイント低く、全道より 2.5 ポイント低かった。また「国語の授業の内容がよく分かる」と答えた割合は 84.1%と、全国より 0.8 ポイント低く、全道より 0.3 ポイント低かった。

「算数の勉強が好き」と答えた割合は 63.0%と、全国より 5.6 ポイント低く、全道より 3.4 ポイント低かった。また「算数の授業の内容がよく分かる」と答えた割合は 79.2%と、全国より 4.3 ポイント低く、全道より 1.6 ポイント低かった。

この2つの設問に関し、肯定的（好き・よく分かるなど）に回答した割合の推移は下図のとおりで、平成31年度（令和元年度）は前年度と比較して、「算数の勉強が好き」と答えた割合は増加傾向にあるが、「算数の授業の内容がよく分かる」と回答した割合が減少傾向にある。



オ. 読書

【読書習慣】「(授業時間以外に)平日1日30分以上読書する」と答えた割合は、前年と比較し 3.1 ポイント高い 41.3%で、全国より 1.5 ポイント高く、全道より 3.2 ポイント高かった。一方、「全く読書しない」と答えた割合は 19.4%であり、全国より 0.7 ポイント高かったが、全道より 2 ポイント低かった。

「新聞を週1回以上読んでいる」と答えた割合は 19.1%で、全国より 0.1 ポイント高かったが、全道より 1.3 ポイント低かった。

このことから、恵庭市は全国・全道と比較し、児童が読書する習慣が定着してきていると考えられる。

(2) 中学校生徒質問紙調査結果の概要

中学校 生徒質問紙
学校質問紙

回答時間 20～45分・質問数 69問
回答時間設定なし・質問数 80問

質問紙調査の主な項目の回答結果データは、28ページ以降に掲載しています。

ア. 生活習慣

【早寝早起き朝ごはん】早寝早起きについて直接の質問はないが、「毎日同じくらいの時刻に寝ている」と答えた割合は74.9%で、全国より3.1ポイント低く、全道より2.5ポイント低かった。全国・全道と比較して、就寝時間がやや不規則であるといえる。

「毎日同じくらいの時刻に起きている」と答えた割合や、「朝食を毎日食べている」と答えた割合は、全国・全道とほぼ同程度であり、9割以上の生徒が肯定的に回答している。

イ. 自分やまわりへの意識

【自尊感情】「自分にはよいところがある」と答えた割合は76.5%であり、全国より2.4ポイント高く、全道より3.1ポイント高かった。

このことから、恵庭市は全国・全道と比較し、生徒の自尊感情が高いと考えられる。

【挑戦心・親切心】「将来の夢や目標を持っている」と答えた割合は70.6%であり、全国より0.1ポイント高く、全道と同じであった。

また、「地域の行事へ参加している」と答えた割合は45.1%であり、全国より5.5ポイント低かったが、全道より0.3ポイント高かった。

ウ. 家庭学習

【家庭学習の時間】市教委では、中学校3年生の家庭学習の時間の目安を100分(小1から数えた学年×10分+10分)としているが、「平日に1時間以上学校以外で勉強している」と答えた割合は63.2%であり、全国より6.6ポイント低く、全道と同じであった。

ただ、今回の中学校3年生が小学校6年生だった時点(平成28年度)では、平日に1時間以上勉強していると答えた割合は58.3%であったので、3年が経過して4.9ポイント増加した。

【家庭学習の内容】「家で、自分で計画を立てて勉強している」と答えた割合は42.7%であり、全国より7.7ポイント低く、全道より6.5ポイント低かった。

このことから、学校での学習指導に基づき、生徒が計画的に家庭学習を実践することが課題となっている。

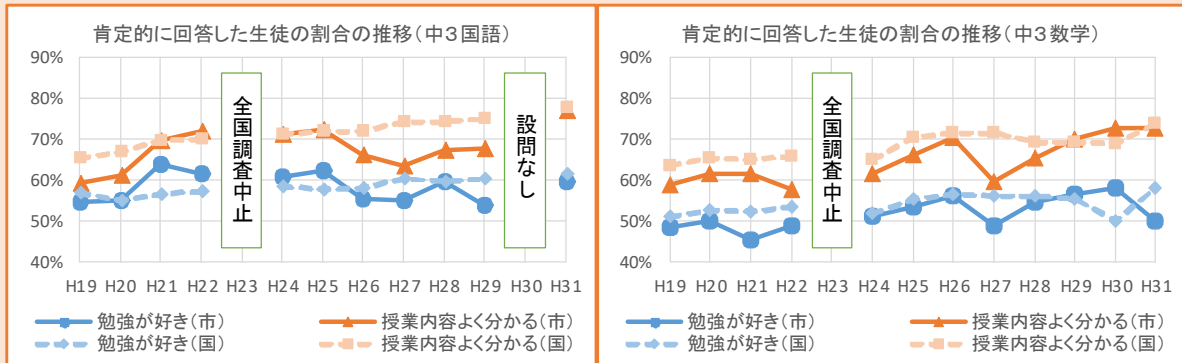
エ. 学校での学習

【学習活動全般】「1、2年生のときに受けた授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と答えた割合は74.2%であり、全国より0.6ポイント低かったが、全道より2.3ポイント高かった。

【国語・数学】「国語の勉強が好き」と答えた割合は59.5%と、全国より2.2ポイント低く、全道より5.5ポイント低かった。また「国語の授業の内容がよく分かる」と答えた割合は77.0%であり、全国より0.6ポイント低く、全道より2.9ポイント低かった。

「数学の勉強が好き」と答えた割合は50.2%と、全国より7.7ポイント低く、全道より4.8ポイント低かった。また「数学の授業の内容がよく分かる」と答えた割合は72.7%であり、全国より1.2ポイント低かったが、全道より1.4ポイント高かった。

この2つの設問に関し、肯定的（好き・良く分かるなど）に回答した割合の推移は下図のとおりで、平成31年度（令和元年度）は前年度と比較して、「数学の勉強が好き」と回答した割合が減少傾向にある。



なお、今回の中学校3年生が小学校6年生だった時点（平成28年度）では、「その教科の勉強が好き」と答えた割合は、国語では59.6%、算数では63.5%であり、3年経過して、国語では割合が0.1ポイント、数学では13.3ポイント低下している。「その教科の授業の内容がよく分かる」と答えた割合は、国語では81.8%、算数では77.2%であり、3年経過して、国語が4.8ポイント、算数は4.5ポイント低下している。

オ. 読書

【読書習慣】「（授業時間以外に）平日30分以上読書する」と答えた割合は、前年と比較し3.4ポイント低い29.1%で、全国より2.1ポイント高く、全道より1ポイント高かった。一方、「平日に全く読書をしない」と答えた割合は33.9%で、全国より0.9ポイント低かったが、全道より0.1ポイント高かった。

このことから、本市の中学生は全国・全道と比較し、平日30分以上読書する生徒の割合が高いものの、平日に全く読書をしない児童が2割程度、生徒が3割以上いることから、全体的にさらなる読書習慣の定着が課題といえる。

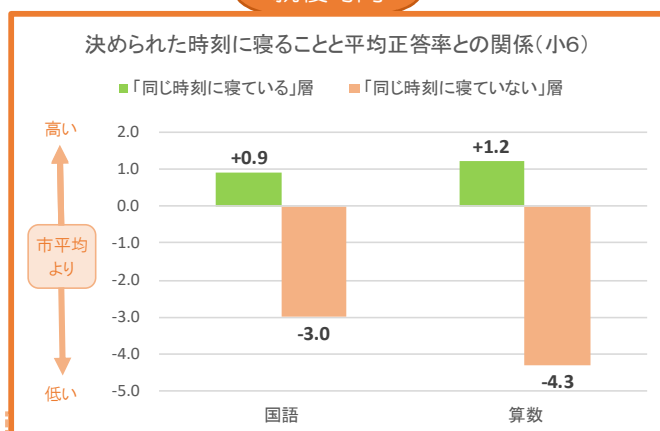
(3) 児童・生徒質問紙の回答状況と学力とのクロス集計（基準別集計）結果

今回、児童・生徒質問紙の質問への回答状況をもとに、「就寝時間」「起床時間」「朝ごはん」「家庭学習」「自尊感情」「達成感情」「読書習慣」という7種類の習慣の結果ごとにグループ分けし、それぞれのグループ別に「教科に関する調査（テスト）」の教科別結果（市平均と比べたときのポイント差）を割り出して、それぞれの習慣の結果と、各教科の結果に相関関係があるかどうかを考察した。

特に、「決められた時刻に寝ない・起きない」「朝食を食べていない」「家庭学習の時間が短い」ことは、各教科の結果が市平均よりマイナスになることと相関関係があると思われる。逆に、「家庭学習の時間が長い」「一定時間の読書習慣がある」ことは、各教科の結果が市平均よりプラスになることと相関関係があると思われる。

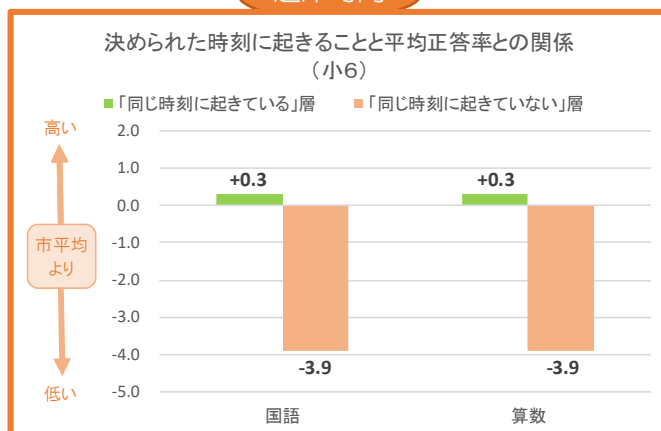
① 小学校6年生

就寝時間



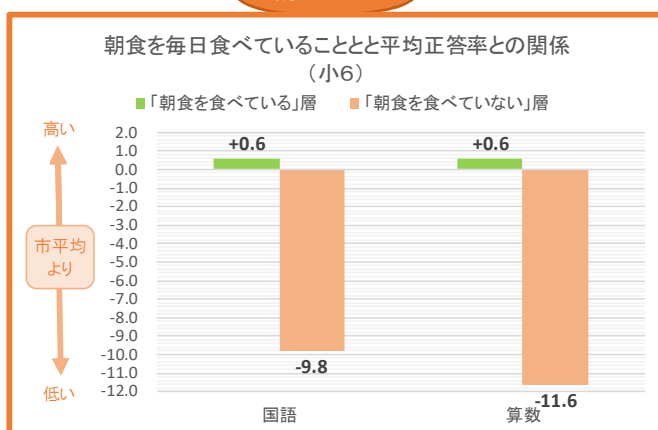
「同じ時刻に寝ている」層の平均正答率が全体的に市平均より1ポイント前後高く、逆に「同じ時刻に寝ていない」層は3ポイント以上低い。

起床時間



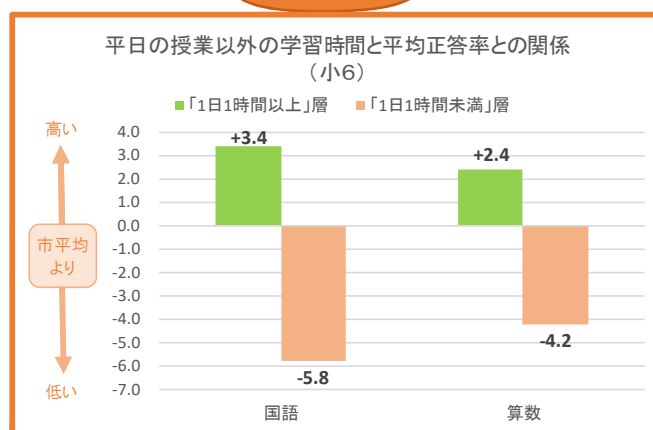
「同じ時刻に起きている」層の平均正答率が全体的に市平均より0.3ポイント高く、逆に「同じ時刻に起きていない」層では3.9ポイント低い。

朝ごはん



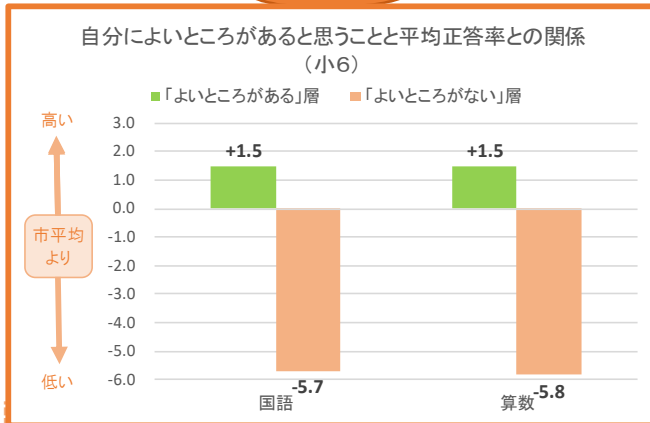
「朝食を毎日食べている」層の平均正答率が全体的に市平均より0.6ポイント高く、逆に「朝食を毎日食べていない」層では10ポイント前後低い。

家庭学習



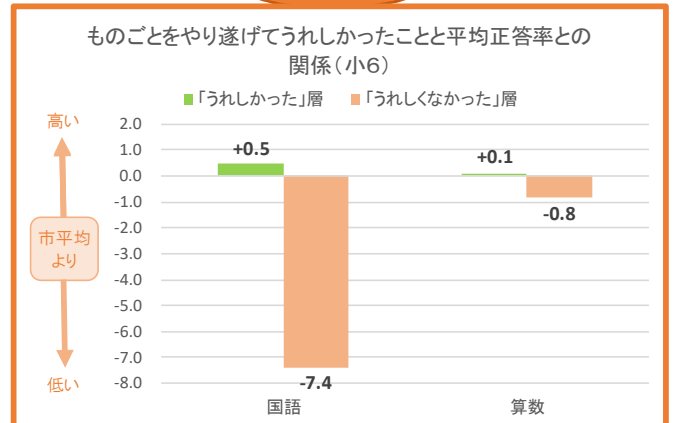
平日に「1日1時間以上」学習する層の平均正答率が全体的に市平均より2ポイント以上高く、逆に「1時間未満」しか学習しない層では4ポイント以上低い。
(※学習塾等での学習時間を含む。)

自尊感情



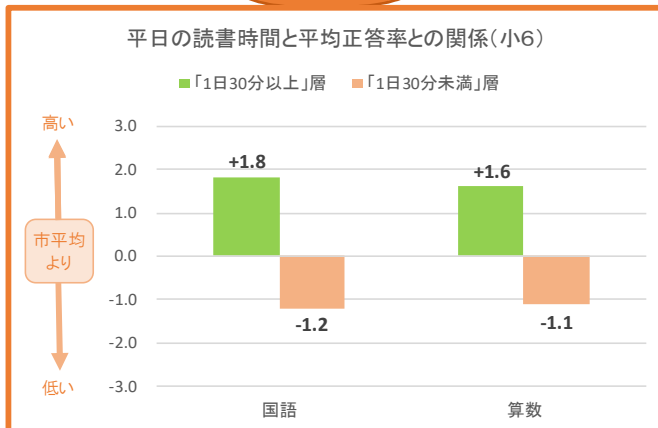
「よいところがある」層の平均正答率が全体的に市平均より 1.5 ポイント高く、逆に「よいところがない」層は 5 ポイント以上低い。

達成感情



「うれしかった」層の平均正答率が全体的に市平均よりやや高く、逆に「うれしくなかった」層では特に国語で 7.4 ポイント低い。

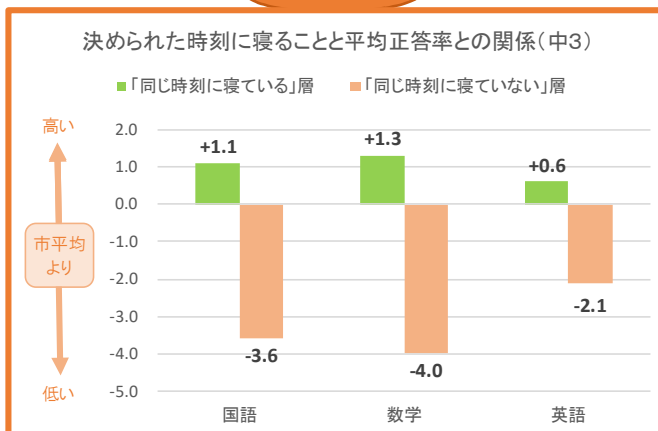
読書習慣



平日「1日30分以上」読書する層の平均正答率が全体的に市平均より 1.5 ポイント以上高く、逆に「1日30分未満」しか読書しない層では 1 ポイント以上低い。

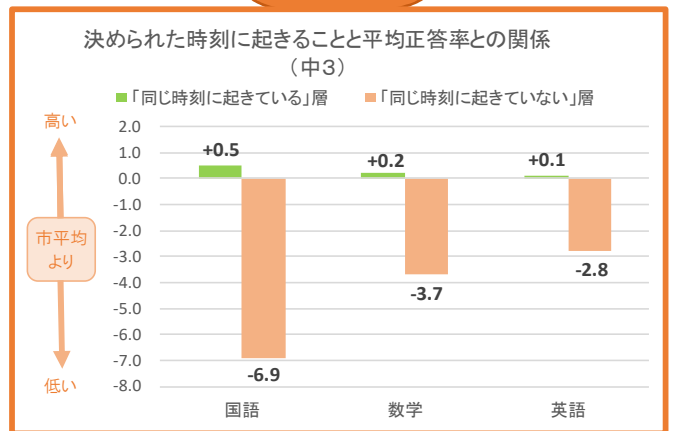
② 中学校 3 年生

就寝時間



「同じ時刻に寝ている」層の平均正答率が全体的に市平均より 1 ポイント前後高く、逆に「同じ時刻に寝ていない」層では 2~4 ポイント低い。

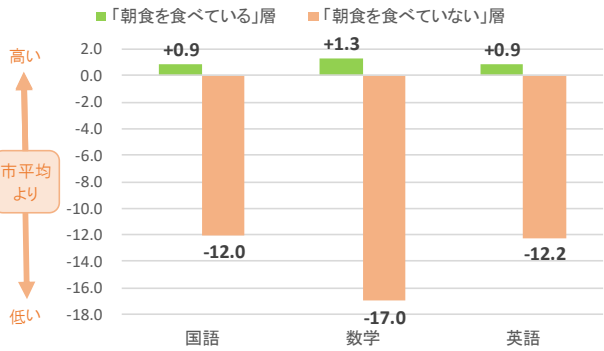
起床時間



「同じ時刻に起きている」層の平均正答率が全体的に市平均よりやや高く、逆に「同じ時刻に起きていない」層では 3~7 ポイントほど低い。

朝ごはん

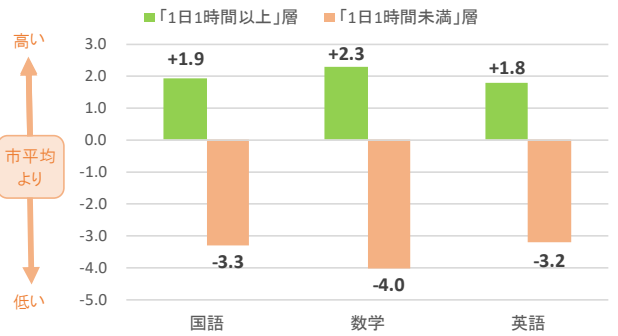
朝食を毎日食べていることと平均正答率との関係(中3)



「朝食を毎日食べている」層の平均正答率が全体的に市平均より 1 ポイント前後高く、逆に「朝食を毎日食べていない」層では全体的に 12 ポイント以上低い。

家庭学習

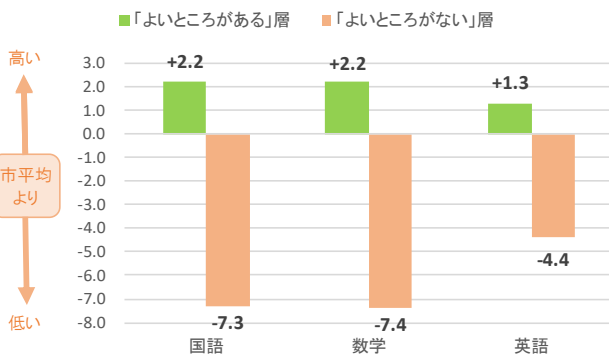
平日の授業以外の学習時間と平均正答率との関係(中3)



平日に「1日1時間以上」学習する層の平均正答率は市平均より 2 ポイント前後高く、逆に「1時間未満」しか学習しない層では 3~4 ポイント低い。
(※学習塾等での学習時間を含む。)

自尊感情

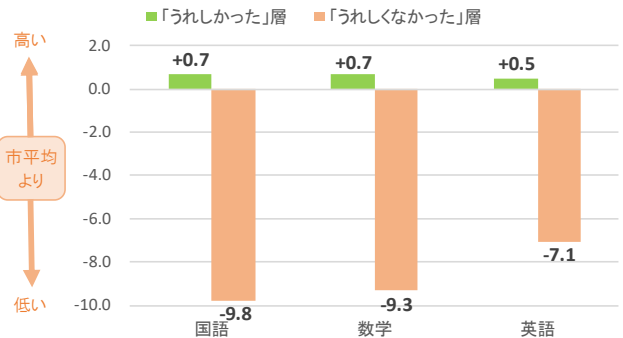
よいところがあると思うことと平均正答率との関係(中3)



「よいところがある」層の平均正答率が全体的に市平均より 1 ポイント以上高く、逆に「よいところがない」層では 4~7 ポイントほど低い。

達成感情

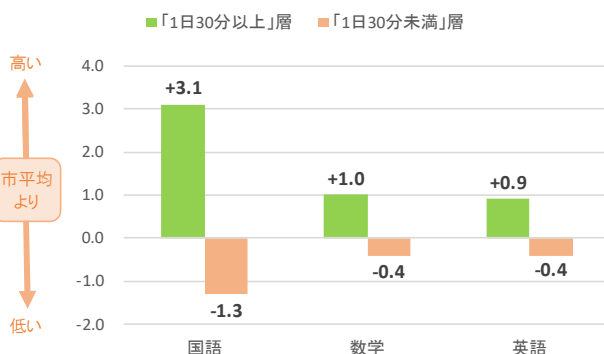
ものごとをやり遂げてうれしかったと思うことと平均正答率との関係(中3)



「うれしかった」層の平均正答率が全体的に市平均より 0.5 ポイント以上高く、逆に「うれしくなかった」層では 7~10 ポイントほど低い。

読書習慣

平日の読書時間と平均正答率との関係(中3)



平日に「1日30分以上」読書する層の平均正答率は全体的に市平均より 1~3 ポイントほど高く、逆に「1日30分未満」しか読書しない層では特に国語で 1.3 ポイント低い。

(4) 児童・生徒質問紙及び学校質問紙調査の主な回答結果データ

①児童・生徒質問紙

質問 番号	質問事項	回答率に 含まれる 回答の範囲	学年	恵庭市 回答率	全国(公立)		全道(公立)	
					回答率	比較	回答率	比較
ア. 生活習慣に関する質問								
1	朝食を毎日食べていますか	「している」「どちらかといえば、している」	小6	94.9%	95.3%	-0.4	94.0%	0.9
			中3	92.6%	93.1%	-0.5	92.4%	0.2
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	「している」「どちらかといえば、している」	小6	80.8%	81.4%	-0.6	81.5%	-0.7
			中3	74.9%	78.0%	-3.1	77.4%	-2.5
3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	「している」「どちらかといえば、している」	小6	92.3%	91.6%	0.7	90.8%	1.5
			中3	93.1%	92.8%	0.3	92.9%	0.2
イ. 自分やまわりへの意識に関する質問								
5	自分には、よいところがあると思いますか	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」	小6	79.9%	81.2%	-1.3	78.9%	1.0
			中3	76.5%	74.1%	2.4	73.4%	3.1
6	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」	小6	83.6%	86.1%	-2.5	84.4%	-0.8
			中3	84.9%	81.5%	3.4	82.1%	2.8
8	将来の夢や目標を持っていますか	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」	小6	83.1%	83.8%	-0.7	82.0%	1.1
			中3	70.6%	70.5%	0.1	70.6%	0.0
9	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」	小6	94.4%	95.2%	-0.8	94.6%	-0.2
			中3	92.7%	93.9%	-1.2	93.9%	-1.2
23	今住んでいる地域の行事に参加していますか	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」	小6	66.0%	68.0%	-2.0	62.2%	3.8
			中3	45.1%	50.6%	-5.5	44.8%	0.3
24	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」	小6	55.5%	54.5%	1.0	49.6%	5.9
			中3	37.4%	39.4%	-2.0	36.2%	1.2
ウ. 家庭学習に関する質問								
17	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	「している」「どちらかといえば、している」	小6	70.1%	71.5%	-1.4	71.3%	-1.2
			中3	42.7%	50.4%	-7.7	49.2%	-6.5
18	学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)	1時間以上している	小6	63.3%	66.1%	-2.8	57.6%	5.7
			中3	63.2%	69.8%	-6.6	63.2%	0.0
エ. 学校での学習に関する質問								
37 40	国語の勉強は好きですか	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」	小6	61.1%	64.2%	-3.1	63.6%	-2.5
			中3	59.5%	61.7%	-2.2	65.0%	-5.5
39 42	国語の授業の内容はよく分かりますか	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」	小6	84.1%	84.9%	-0.8	84.4%	-0.3
			中3	77.0%	77.6%	-0.6	79.9%	-2.9
40 43	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」	小6	92.5%	91.2%	1.3	91.3%	1.2
			中3	87.2%	88.0%	-0.8	87.9%	-0.7

①児童・生徒質問紙（続き）

質問 番号	質問事項	回答率に 含まれる 回答の範囲	学年	恵庭市 回答率	全国(公立)		全道(公立)	
					回答率	比較	回答率	比較
エ. 学校での学習に関する質問								
46	算数／数学の勉強は好きですか	「当てはまる」「どちらか といえば、当てはまる」	小6	63.0%	68.6%	-5.6	66.4%	-3.4
49			中3	50.2%	57.9%	-7.7	55.0%	-4.8
48	算数／数学の授業の内容はよく分かりますか	「当てはまる」「どちらか といえば、当てはまる」	小6	79.2%	83.5%	-4.3	80.8%	-1.6
51			中3	72.7%	73.9%	-1.2	71.3%	1.4
49	算数／数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たとき に役に立つと思いますか	「当てはまる」「どちらか といえば、当てはまる」	小6	92.9%	92.5%	0.4	92.0%	0.9
52			中3	76.4%	76.2%	0.2	74.5%	1.9
35	5年生まで／1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか	「当てはまる」「どちらか といえば、当てはまる」	小6	77.6%	77.7%	-0.1	76.2%	1.4
37			中3	74.2%	74.8%	-0.6	71.9%	2.3
オ. 読書に関する質問								
質問 番号	質問事項	回答率に 含まれる 回答の範囲	学年	恵庭市 回答率	全国(公立)		全道(公立)	
19	学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれ くらい時間、読書をしますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)	1日当たり30分以上し ている	小6	41.3%	39.8%	1.5	38.1%	3.2
			中3	29.1%	27.0%	2.1	28.1%	1.0
		全くしない	小6	19.4%	18.7%	0.7	21.4%	-2.0
			中3	33.9%	34.8%	-0.9	33.8%	0.1
22	新聞を読んでいますか	週1回以上読んでいる	小6	19.1%	19.0%	0.1	20.4%	-1.3
			中3	12.6%	12.7%	-0.1	14.6%	-2.0
		ほとんど、または、全く 読まない	小6	60.1%	61.4%	-1.3	59.0%	1.1
			中3	72.1%	71.3%	0.8	68.5%	3.6



②学校質問紙

質問 番号	質問事項	回答率に 含まれる 回答の範囲	学校	恵庭市 回答率	全国(公立)		全道(公立)	
					回答率	比較	回答率	比較
A. 児童・生徒の自分やまわりへの意識に関する質問								
11	調査対象学年の児童／生徒に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか	「よく行った」「どちらかといえば、行った」	小	100.0%	83.2%	16.8	88.9%	11.1
			中	100.0%	98.6%	1.4	99.1%	0.9
54	職場見学や職場体験活動を行っていますか	「行っている」	小	75.0%	57.3%	17.7	70.0%	5.0
68			中	100.0%	99.0%	1.0	99.1%	0.9
B. 児童・生徒の家庭学習に関する質問								
59	調査対象学年の児童／生徒に対して、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか(教科共通)	「よく行った」「どちらかといえば、行った」	小	100.0%	92.2%	7.8	96.5%	3.5
73			中	80.0%	87.0%	-7.0	89.4%	-9.4
60	調査対象学年の児童／生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童／生徒に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにしましたか(教科共通)	「よく行った」「どちらかといえば、行った」	小	100.0%	95.5%	4.5	97.5%	2.5
74			中	80.0%	92.3%	-12.3	95.6%	-15.6
C. 児童・生徒の学校での学習に関する質問								
39	調査対象学年の児童／生徒に対する国語の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	「よく行った」「どちらかといえば、行った」	小	87.5%	89.0%	-1.5	91.3%	-3.8
40			中	80.0%	88.9%	-8.9	95.1%	-15.1
40	調査対象学年の児童／生徒に対する国語の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	「よく行った」「どちらかといえば、行った」	小	62.5%	62.4%	0.1	72.2%	-9.7
41			中	80.0%	74.6%	5.4	81.0%	-1.0
45	調査対象学年の児童／生徒に対する算数／数学の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	「よく行った」「どちらかといえば、行った」	小	100.0%	96.5%	3.5	98.3%	1.7
46			中	100.0%	94.3%	5.7	97.2%	2.8
46	調査対象学年の児童／生徒に対する算数／数学の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	「よく行った」「どちらかといえば、行った」	小	87.5%	72.8%	14.7	79.7%	7.8
47			中	80.0%	76.5%	3.5	83.9%	-3.9
47	調査対象学年の児童／生徒に対する算数／数学の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	「よく行った」「どちらかといえば、行った」	小	75.0%	82.4%	-7.4	88.3%	-13.3
48			中	100.0%	78.1%	21.9	85.0%	15.0
49	調査対象学年の児童／生徒に対する指導において、前年度に、教員が大型掲示装置(プロジェクター、電子黒板など)などのICTを活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか	「週1回以上行っている」	小	87.5%	80.8%	6.7	90.2%	-2.7
63			中	80.0%	80.8%	-0.8	76.9%	3.1
D. 学校間や地域の連携に関する質問								
55	教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか	「よくしている」「どちらかといえば、している」	小	100.0%	89.6%	10.4	96.6%	3.4
69			中	80.0%	86.4%	-6.4	94.5%	-14.5
51	前年度までに、近隣等の中学校／小学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	「よく行った」「どちらかといえば、行った」	小	100.0%	65.0%	35.0	64.9%	35.1
65			中	80.0%	68.0%	12.0	71.9%	8.1
53	平成30年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の中学校／小学校と成果や課題を共有しましたか	「よく行った」「どちらかといえば、行った」	小	87.5%	60.6%	26.9	72.6%	14.9
67			中	80.0%	60.0%	16.0	75.3%	4.4
52	前年度までに、近隣等の中学校／小学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を行いましたか	「よく行った」「どちらかといえば、行った」	小	87.5%	70.6%	16.9	65.6%	21.9
66			中	80.0%	76.2%	3.8	74.2%	5.8

4 総評

- ① 平成31年度（令和元年度）の「全国学力・学習状況調査」は、前年度に比べて「教科に関する調査」が変わりました。小学校6年生の「国語A」「国語B」は「国語」に、「算数A」「算数B」は「算数」になり、中学校3年生の「国語A」「国語B」は「国語」に、「数学A」「数学B」は「数学」になりました。さらに、初めて「英語」が加わり、「話すこと」「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の4領域別の調査が行われましたが、「話すこと」については、調査環境、施設・設備に差があるため、全国集計は行われておりません。
- ② 学力調査の結果、恵庭市の小学校6年生の平均正答率は、「国語」が全国平均とほぼ同程度ですが、「算数」が全国平均をやや下回りました。恵庭市の中学校3年生の平均正答率は、「全ての教科」において全国平均とほぼ同程度でした。
- ③ また、全国の下位4分の1層の小学校6年生・中学校3年生の割合と、同じ正答数の範囲に含まれる恵庭市の小学校6年生・中学校3年生の割合を比べたポイント差については、次のようになりました。

恵庭市の割合 と全国の割合 のポイント差	小学校6年生				中学校3年生				
	国語A	国語B	算数A	算数B	国語A	国語B	数学A	数学B	
(前回) H30	-2.1	-0.1	-2.7	0.1	0.8	-1.2	1.1	-1.3	
H31 (R1)	国語		算数		国語		数学		英語
	-2.0		4.2		-0.7		-1.1		-4.0

※全国とのポイント差が小さくなる（最終的にはマイナスになる）ことが、学力の底上げの目安になります。

- ④ 恵庭市の小学校6年生・中学校3年生の生活習慣については、朝食を食べている割合は全国より高いですが、寝る時間が全国より不規則だったり遅くなったりする傾向がみられます。このことは、日々の家庭学習時間が全国より短い傾向との関連があります。各学校において学習内容の定着を目指した家庭学習の指導が行われ、児童生徒が着実に実践していますが、平日の習慣として「十分な時間を家庭学習に充てられていないこと」が課題です。
- ⑤ 恵庭市PTA連合会では、毎月第3日曜日を「市P連の日」と定めて、「ノーデジタル・メディア・チャレンジ」に取り組んでいます。日時を限定して、「テレビを消す」「携帯電話、スマートフォン、ゲーム機を使わない」「インターネットの利用、メールのやりとりをしない」などのルールを、家族みんなで決めて実行しようという呼びかけを行っています。市教委としても、道教委が示している「（デジタルメディアを）全て合わせて2時間以内」を目安に、「節度ある利用」を呼びかけていきたいと考えています。